

測定計測展2019

測定機器、三次元測定機セミナー

日程 9月11日(水)	お申込方法 日本精密測定機器工業会 HP から受講申込書をダウンロードして頂き、必要事項をご記入後、事務局までメールに添付の上お申し込みください。 http://www.jpimia.gr.jp/ ※お申込み多数の場合は途中で募集を打ち切ることがあります。
時間 10:00 - 16:00	
会場 東京ビッグサイト会議棟6階 605、606号室	
主催 日本精密測定機器工業会	お問い合わせ先 日本精密測定機器工業会「セミナー」事務局 〒105-0003 東京都港区西新橋3-14-2 TEL. 03-3434-9557 FAX. 03-3434-1695 E-mail. info@jpimia.gr.jp
参加費 無料 (テキスト代¥500)	

プログラム

※内容は予告なく変更される場合があります。

10:05 - 10:45	(仮) 精密測定機器における校正の動向 国立研究開発法人 産業技術総合研究所 計量標準総合センター 工学計測標準研究部門 ナノスケール標準研究グループ グループ長 平井 亜紀子 氏 重さや温度の定義が見直される中で国家標準の最新動向と現場での校正におけるトレーサビリティについて解説戴きます。
10:45 - 11:25	測定機器における校正の重要性 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 認定センター 計量認定課 近藤 圭太郎 氏 計量トレーサビリティが要求される背景(重要性)とそのトレーサビリティを証明する校正機関の認定制度である JCSS についてご紹介戴きます。
11:25 - 12:05	計測器管理における校正の重要性 一般財団法人 日本品質保証機構 中部試験センター 師勝試験所 計量計測課 副参事 富山 一男 氏 企業の品質を支える計測器管理方法の基礎をはじめ、JQAの事業活動、計量計測トレーサビリティ、ISO/IEC17025 試験所認定の活動内容及び認定事業者が発行する校正証明書の活用方法について紹介戴きます。
13:00 - 13:45	トヨタ自動車におけるモデルベース開発 (MBD) の一翼を担う精密測定技術 トヨタ自動車株式会社 計測・デジタル基盤改革部 PT 計測評価室 室長 山本 貴也 氏 モデルベース開発で活用するシミュレーションの精度向上には、物理量の計測・評価による現象のメカニズム解明と精密測定技術によるモデルへの正確なフィードバックが必要不可欠。今回は、トヨタ自動車様における取り組みの一端をご紹介戴きます。
13:45 - 14:30	航空機産業における精密計測・検査機器への期待 公益財団法人 神戸市産業振興財団 商業・ものづくり支援部 航空機産業担当部長 茨木 久徳 氏 航空機産業は、他産業への技術波及効果が高く、成長が期待される産業である一方、安全確保のため高い品質管理が要求され、中でも精密計測・検査機器が重要な役割を担っておりその役割と期待について解説して戴きます。

CMM活用の為のヒント(都市伝説)

14:45 - 15:10	非接触三次元測定機における測定設定の影響 地方独立行政法人 鳥取県産業技術センター 機械素材研究所 新見 浩司 氏 非接触測定においてスプレー塗布と測定設定の変更を行った場合のデータを比較することで、標準測定が困難なワークへの対処法としてどちらが有効であるかについて解説戴きます。
15:10 - 15:35	CMMと真円度・円筒形状測定機による測定結果の比較 滋賀県東北部工業技術センター 藤井 利徳 氏 三次元測定機の汎用性を活かして測定した円筒度測定結果と真円度・円筒形状測定機による測定結果との比較について解説して戴きます。
15:35 - 16:00	データ形体の測定範囲と幾何公差の関係 岐阜県産業技術総合センター 機械部 主任研究員 丹羽 孝晴 氏 同じ円柱での同軸度をデータ軸直線の長さを変えながら測定し、同軸度の測定における円柱の直径とデータ軸直線長さとの関係について解説戴きます。

日本精密測定機器工業会